

令和4年度 第2回長崎県地域職業能力開発促進協議会
議事要旨

日 時 R5.3.14(火) 14:00~15:00
場 所 長崎県市町村会館 6階大会議室
出席者 別添名簿のとおり

1. 開会

2. 長崎労働局長あいさつ

小城長崎労働局長よりあいさつ

3. 議題

(1) 令和4年度の公的職業訓練進捗状況について(資料1~3)

[事務局：堀口]

- ・資料1~3に基づき、「雇用失業情勢」、「職業訓練 求職者ニーズ」、「ハロートレーニングの実績」について説明

◆質問・意見等◆

【深浦会長】

- ・(中止について) 訓練期間・時間について訓練機関どうしの調整、内容等同じものが重ならないように、場合によっては講師の調整を訓練機関の間で連携・調整は何かしているか。

【事務局：堀口、山田】

- ・訓練について民間の場合、県の委託訓練と機構の求職者支援訓練がある。委託訓練の場合は年間訓練計画を年度初めに確定している。求職者支援訓練は四半期ごとに訓練機関が機構へ訓練コースを申請して認定しており、似たような訓練が設定される場合がある。
- ・機関の間での調整は、民営の機関が実施するので難しいと聞いている。

【深浦会長】

- ・制度の違い等難しい部分があると思うが、しばしば中止というのが話題になるので引き続き改善の策を考えていただきたい。

(2) 令和5年度の長崎県職業訓練実施計画(案)について

[事務局：堀口]

- ・資料4に基づき、「令和5年度長崎県地域職業訓練実施計画(案)」について説明

◆質問・意見等◆

なし

●計画（案）について、全員承認

(3) 訓練効果の把握・検証等を実施する訓練分野の選定について

[事務局：堀口]

- ・資料5に基づき「訓練効果の把握・検証等を実施する訓練分野の選定」について説明

◆質問・意見等◆

【峯下委員】

- ・P29「検証対象となる訓練分野の選定」がデジタル分野を選定している理由は理解できた。令和5年度全体の計画数ではデジタル分野以外の数字も相当数ある。事務局提案以外にも対象分野を設けたほうがいいのではないか。

【事務局：山田】

- ・第1回の協議会でも申し上げた通り協議会が法定化され、今回初めて計画を策定してそれに基づいて取り組む。走りはじめの段階ということもあり、まずはデジタルから始めるのがよいのではないか。実際に検証を実施していく中で、更に他の分野についても検証を実施してみてもどうか。最初ということもあり、まずはデジタルで実施し、令和6年度は他の分野あるいはデジタルを引き続きしつつ他の分野を検証することを考えている。

【峯下委員】

- ・検証の結果をはかりやすいのがデジタル分野なので手始めに実施し、それから拡げていくということか。

【事務局：山田】

- ・そうです。

【深浦会長】

- ・この流れで進めていただき、結果については協議会で報告を頂く。

(4) デジタル人材の育成について

～長崎県自営型テレワーク促進事業～

【事務局補足】

※この事業については、長崎県において令和4年度に新規事業として行っている事業である。在宅（自営）ワークを行うためのスキルを身につける養成講座及び県内企業への活用促進を図るセミナーを開催している。職業訓練への展開ができないか等検討できればと考え事業内容の説明を依頼した。

[オブザーバー：長崎県産業労働部雇用労働政策課 中島課長補佐]

- 資料6に基づき、デジタル人材の育成について説明

◆質問・意見等◆

- 小濱委員、深浦会長、峯下委員から、当事業に関して成果・受け入れ先等について質問
- 吉田委員から、質問に対して回答

4. 閉会

- 本日、承認いただいた「令和5年度の長崎県職業訓練実施計画（案）」については、厚生労働省に進達し承認後、当局ホームページにて公表予定である。
- 来年度の第1回目の協議会は10月～11月を予定している。